



# 東北学院大学

## 2025年度実施

### 2021年度卒業生アンケート調査 (卒業後3年学生調査)

公開版

## 調査結果報告

### 2026年 2月

高等教育開発室  
学長室政策支援IR課

# 2025年度実施 2021年度卒業生アンケート調査(卒業後3年学生調査)の概要

- **本調査の目的** : 卒業後3年を経過した卒業生に対して、大学生活で身についた能力や資質を通じ、卒業後に選択した進路・就職先で成果を感じているか調査を実施する。
- **調査期間** : 2025年12月23日(火)～2026年1月20日(火)
- **調査対象** : 2021年度 学部卒業生 2,296名 大学院修了生 53名 計2,349名
- **調査方法** : GoogleフォームによるWeb回答方式
- **回答数** : 205件 (8.7%)

※ 本調査は就職キャリア支援課が主管となり実施し、政策支援IR課が分析した。

## ■ 調査設問

### I. 基本情報に関する設問

- Q1. 性別  
1\_男性 2\_女性 3\_無回答
- Q2. 当時の7ケタの学生番号を記入し、入学試験区分についてご記入ください。(学生番号は任意)  
1\_一般入学試験 2\_AOによる入学試験  
3\_学業による推薦入学試験(指定校推薦) 4\_資格取得による推薦入学試験  
5\_キリスト者推薦入学試験 6\_スポーツに優れた者の推薦入学試験  
7\_文化活動に優れた者の推薦入学試験 8\_TG推薦入学試験  
9\_大学センター試験利用入学試験 10\_その他
- Q3. 卒業した研究科・学部・学科をお教えてください。(プルダウンによる選択)  
1\_文学部 英文学科 2\_文学部 総合人文学科  
3\_文学部 歴史学科 4\_経済学部 経済学科  
5\_経済学部 共生社会経済学科 6\_経営学部 経営学科  
7\_法学部 法律学科 8\_工学部 機械知能工学科  
9\_工学部 電気電子工学科(電気情報工学科) 10\_工学部 電子工学科  
11\_工学部 環境建設工学科 12\_工学部 情報基盤工学科  
13\_教養学部 人間科学科 14\_教養学部 言語文化学科  
15\_教養学部 情報科学科 16\_教養学部 地域構想学科  
17\_文学研究科 18\_経済学研究科  
19\_経営学研究科 20\_法学研究科  
21\_工学研究科 22\_人間情報学研究科

### II. あなたの東北学院大学での学生生活を振り返ってお聞きます。

- Q4. 東北学院大学において力を入れていたことを選択してください。(最大3つ)  
1\_大学の授業 2\_礼拝  
3\_ゼミ、研究活動、卒業論文、卒業研究 4\_資格試験など授業以外の自主的な勉強  
5\_課外活動(部活動やサークルなど) 6\_ボランティア・NPOなどの活動  
7\_アルバイト 8\_インターンシップ  
9\_就職活動 10\_留学  
11\_友達、先輩、後輩との交流 12\_教員との交流  
13\_学外の社会人との交流 14\_特になし  
その他( )
- Q5. 東北学院大学での学生生活を通じて自分が成長したと感じますか。  
1\_とても成長した 2\_やや成長した  
3\_あまり成長しなかった 4\_まったく成長しなかった
- Q6. 東北学院大学で最も自分を成長させた経験についてあてはまるものを選択してください。  
1\_大学の授業 2\_礼拝  
3\_ゼミ、研究活動、卒業論文、卒業研究 4\_資格試験など授業以外の自主的な勉強  
5\_課外活動(部活動やサークルなど) 6\_ボランティア・NPOなどの活動  
7\_アルバイト 8\_インターンシップ  
9\_就職活動 10\_留学  
11\_友達、先輩、後輩との交流 12\_教員との交流  
13\_学外の社会人との交流 14\_特になし  
その他( )
- Q7. あなたは東北学院の「建学の精神」をご存知でしたか。  
1\_はい 2\_いいえ
- Q8. 東北学院大学のキリスト教学や礼拝による人格教育が現在の生活に繋がっていると感じていますか。  
1\_そう思う 2\_どちらかといえばそう思う  
3\_どちらかといえばそう思わない 4\_まったく思わない

### III. あなたの東北学院大学での学びについてお聞きます。

- Q9. 大学教育を通じて、次のような知識・能力などが身に付いたと思いますか。(選択肢: 1\_身に付いた、2\_ある程度身に付いた、3\_あまり身に付いていない、4\_身に付いていない)  
1\_専門分野以外の幅広い教養 2\_専門分野に関する知識や技能  
3\_批判的に考える能力 4\_数理的に物事を分析する能力  
5\_問題を発見し解決する能力 6\_リーダーシップの能力  
7\_他者を理解し意思疎通する能力 8\_他者と協力して物事を遂行する能力  
9\_異文化の人々と協力する能力 10\_英語の運用能力  
11\_文章表現の能力 12\_プレゼンテーションの能力  
13\_自主的かつ自律的に学修する能力 14\_現代社会が直面する問題に関する知識  
15\_地域社会が直面する課題に関する知識

- Q10. 専門的な知識や技能を身につけるための体系的なカリキュラムであったと思いますか。  
1\_そう思う 2\_どちらかといえばそう思う  
3\_どちらかといえばそう思わない 4\_まったく思わない

Q11. 東北学院大学卒業後に大学での学びがどのように役に立っていると実感するかお答えください。(記述式テキスト)

### IV. 進路・就職についてお伺いします。

- Q12. 現在、卒業または修了後に就職した会社に勤めていますか。  
1\_新卒で就職した会社・組織・団体等に継続して働いている (Q16.へ)  
2\_転職して働いている (Q13.へ)  
3\_無職(退職し求職中または休職中) (Q31.へ)  
4\_無職(就職していない) (Q32.へ)  
5\_進学して在学中 (Q32.へ)  
その他( ) (Q32.へ)
- (Q12で「2\_転職して働いている」を選んだ場合)  
Q13. 新卒で就職した職業について、あてはまるものをお選びください。  
1\_会社員 2\_会社経営者・役員  
3\_公務員・団体職員 4\_自営業  
5\_専門職(研究職、士業、教員等) 6\_派遣・契約社員、パート・アルバイト  
その他( )
- Q14. 新卒での就職先の業種をお選びください。  
1\_農・林・漁・鉱業 2\_建設業  
3\_製造業 4\_電気・ガス・熱供給・水道業  
5\_情報通信業 6\_運輸業、郵便業  
7\_卸売業、小売業 8\_金融業、保険業  
9\_不動産業、物品賃貸業 10\_学術研究、専門・技術サービス業  
11\_宿泊業、飲食サービス業 12\_教育、学修支援業  
13\_医療、福祉 14\_公務  
15\_その他サービス業 その他( )
- Q15. 転職した理由は何ですか。(複数回答可)  
1\_仕事のやりがいが無くなった 2\_給料が安い  
3\_人間関係が悪い 4\_福利厚生がよくない  
5\_労働条件が悪い 6\_会社とは無関係の理由  
その他( )

(Q12で「1\_新卒で就職した会社・組織・団体等に継続して働いている」「2\_転職して働いている」を選んだ場合)

- Q16. 現在の職業について、あてはまるものをお選びください。  
1\_会社員 2\_会社経営者・役員  
3\_公務員・団体職員 4\_自営業  
5\_専門職(研究職、士業、教員等) 6\_派遣・契約社員、パート・アルバイト  
その他( )

- Q17. 現在のお勤め先の業種をお選びください。  
1\_農・林・漁・鉱業 2\_建設業  
3\_製造業 4\_電気・ガス・熱供給・水道業  
5\_情報通信業 6\_運輸業、郵便業  
7\_卸売業、小売業 8\_金融業、保険業  
9\_不動産業、物品賃貸業 10\_学術研究、専門・技術サービス業  
11\_宿泊業、飲食サービス業 12\_教育、学修支援業  
13\_医療、福祉 14\_公務  
15\_その他サービス業 その他( )

- Q18. あなたの現在の年収(税込み)は以下のどれに該当しますか。  
1\_200万円未満 2\_200万～399万円  
3\_400万～599万円 4\_600万～799万円  
5\_800万～999万円 6\_1000万円以上  
7\_答えたくない

- Q19. 現在の職業に東北学院大学での学びが活かされていると思いますか。  
1\_そう思う 2\_どちらかといえばそう思う  
3\_どちらかといえばそう思わない 4\_まったく思わない

Q19.2. Q19のように回答された理由を具体的に記入してください。

Q20. 卒業(修了)後～現在の進路・就職先名を順に記載してください。

# 2025年度実施 2021年度卒業生アンケート調査(卒業後3年学生調査)の概要

(前頁からの続き)

■ 調査設問

現在の職場についてお伺いします。

- Q21. 仕事内容について
  - 1\_とても満足
  - 2\_どちらかといえば満足
  - 3\_どちらかといえば不満足
  - 4\_不満足
- Q22. 職場の雰囲気について
  - 1\_とても満足
  - 2\_どちらかといえば満足
  - 3\_どちらかといえば不満足
  - 4\_不満足
- Q23. 労働条件(休日・残業等)について
  - 1\_とても満足
  - 2\_どちらかといえば満足
  - 3\_どちらかといえば不満足
  - 4\_不満足
- Q24. 福利厚生について
  - 1\_とても満足
  - 2\_どちらかといえば満足
  - 3\_どちらかといえば不満足
  - 4\_不満足
- Q25. 企業の将来性について
  - 1\_とても期待できる
  - 2\_どちらかといえば期待できる
  - 3\_どちらかといえば期待できない
  - 4\_期待できない
- Q26. 社員・職員の定着率について
  - 1\_とても良い
  - 2\_どちらかといえば良い
  - 3\_どちらかといえば悪い
  - 4\_悪い
- Q27. 現在の職場に対するあなたの総合評価について
  - 1\_とても満足
  - 2\_どちらかといえば満足
  - 3\_どちらかといえば不満足
  - 4\_不満足
- Q28. 現在の職場への後輩への推薦度について
  - 1\_とても推薦できる
  - 2\_どちらかといえば推薦できる
  - 3\_どちらかといえば推薦できない
  - 4\_推薦できない
- Q29. 入社前のイメージと入社後に実際に働いてみての感想はいかがですか？

- Q30. 現在の考えに近いものを選んでください
  - 1\_今後もこの会社で働き続けたいと考えている
  - 2\_転職(退職)を考えている
  - 3\_退職し起業を考えている
  - その他( )

- Q31. 退職した理由は何ですか。(複数回答可)
  - 1\_仕事のやりがいが無くなった
  - 2\_給料が安い
  - 3\_人間関係が悪い
  - 4\_福利厚生がよくない
  - 5\_労働条件が悪い
  - 6\_会社とは無関係の理由
  - その他( )

(以降、全員への質問)

- Q32. あなたは、社会で活躍するために、現在どのような能力・知識が必要だと考えていますか。それぞれについてお答えください。  
(選択肢:1\_とても必要、2\_どちらかといえば必要、3\_どちらかといえば必要ではない、4\_必要ではない)
  - 1\_幅広い知識・教養
  - 2\_専門的な知識や技能
  - 3\_論理的思考力(物事を論理的に考える力)
  - 4\_数的思考力(情報収集によって、妥当性・信頼性を数理的に考える力)
  - 5\_課題発見・解決力(課題を発見し解決方法を考える力)
  - 6\_統率力(意見や立場の違いを理解し組織の考えをまとめる力)
  - 7\_コミュニケーション力(目的意識を持って、意見や気持ちを伝え合う力)
  - 8\_協働力(自身の役割を意識し、協調して物事を進める力)
  - 9\_外国語によるコミュニケーション力
  - 10\_人脈形成力(人と新しい関係をつくりあげる力)
  - 11\_文章力(他者に対して文章として論理的に説明できる力)
  - 12\_プレゼンテーション力(人前で発表し、説得力を持って伝える力)
  - 13\_実践力(自ら学び目標に向けて実行する力)
  - 14\_発想力(柔軟性を持って考えながら新しい考えを出す力)
  - 15\_地域力(地域の課題を適切にとらえ実行する力)

Q33. 在学中、就職先を考える場合に、何について検討したら良かったと考えますか。

Q34. 在学中、本学の就職支援について、実施して欲しかったことはありますか。

V. 東北大学院大学に対するあなたの評価をお聞きます。

- Q35. 東北学院大学を表す最初にイメージする言葉を1つ選んでください。
  - 1\_「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」
  - 2\_LIFE LIGHT LOVE
  - 3\_地の塩 世の光
  - 4\_ゆたかに学び 地域へ 世界へーよく生きる心が育つ東北学院ー
  - 5\_特に無い
  - その他( )
- Q36. あなたは高校生に東北学院大学への進学を勧めたいと思いますか。
  - 1\_とても勧めたい
  - 2\_どちらかといえば勧めたい
  - 3\_どちらかといえば勧めたくない
  - 4\_勧めたくない

Q36.2. Q36のように回答された理由を具体的に記入してください。

- Q37. 東北学院大学での学びに対する満足度についてご回答ください。
  - 1\_大変満足
  - 2\_満足
  - 3\_不満足
  - 4\_大変不満足

Q38. Q37のように回答された理由及び東北学院大学の教育に対する期待や要望があれば記入してください。(記述式テキスト)

VI. 卒業後の学び直しについてお伺いします。

- Q39. 卒業後に、大学で新たな知識や技能を習得したいと思ったことはありますか。
  - 1\_ある (Q40.へ)
  - 2\_ない (Q43.へ)
- (Q39で「1\_ある」を選んだ場合)
- Q40. どのような時に、新たな知識や技能を習得したいと感じましたか。
  - 1\_キャリアチェンジを考えたとき
  - 2\_現職でスキルを向上させたいと感じたとき
  - 3\_興味のある新しい分野を学びたいと感じたとき
  - 4\_専門的な資格や認定を取得したいとき
  - その他( )

Q41. 新たな知識や技能を習得するために、どのような学びのスタイルが最も適していると感じますか。

- 1\_大学院への進学
- 2\_履修証明プログラム(数ヶ月～1年程度で修了するプログラム)
- 3\_大学独自の証明書が発行される短期プログラム(数回の講義で修了)
- 4\_1回で完結する講演会やセミナー
- 5\_オンライン講座やeラーニング
- 6\_通信教育(大学の通信教育課程も含む)
- その他( )

Q41.2. Q41.のように回答された理由を教えてください。

- Q42. 新たな知識や技能を習得するために、どのような学びの形式が最も適していると感じますか。
  - 1\_対面形式
  - 2\_オンライン形式
  - 3\_ハイブリッド形式(対面とオンラインの両方を組み合わせた形式)
  - 4\_通信教育のみの形式
  - 5\_スクーリングと組み合わせた通信教育

VII. 社会に出て働いたことでわかる大学での学習や生活等へのアドバイス

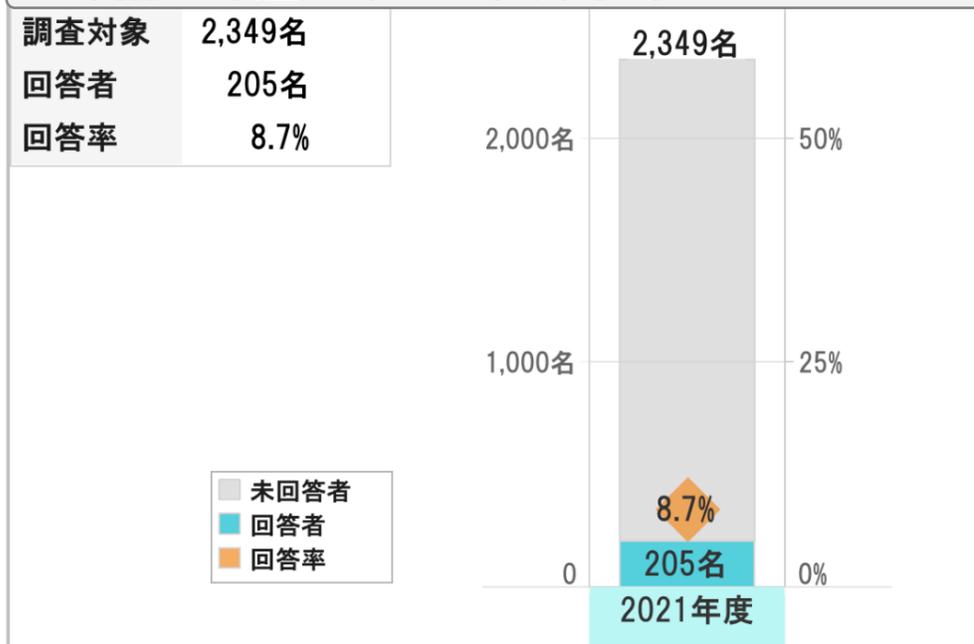
- Q43. 後輩に向けて「就職活動」についてのアドバイスをお願いします。
- Q44. 後輩に向けて「社会に出るための準備」についてのアドバイスをお願いします。
- Q45. 在学生への就職活動支援の協力者としてご登録いただけますでしょうか？
  - 1\_はい (Q46.へ)
  - 2\_いいえ(送信)
- Q46. 以下にパソコンで使用可能なメールアドレスをご記入ください。

：非公開

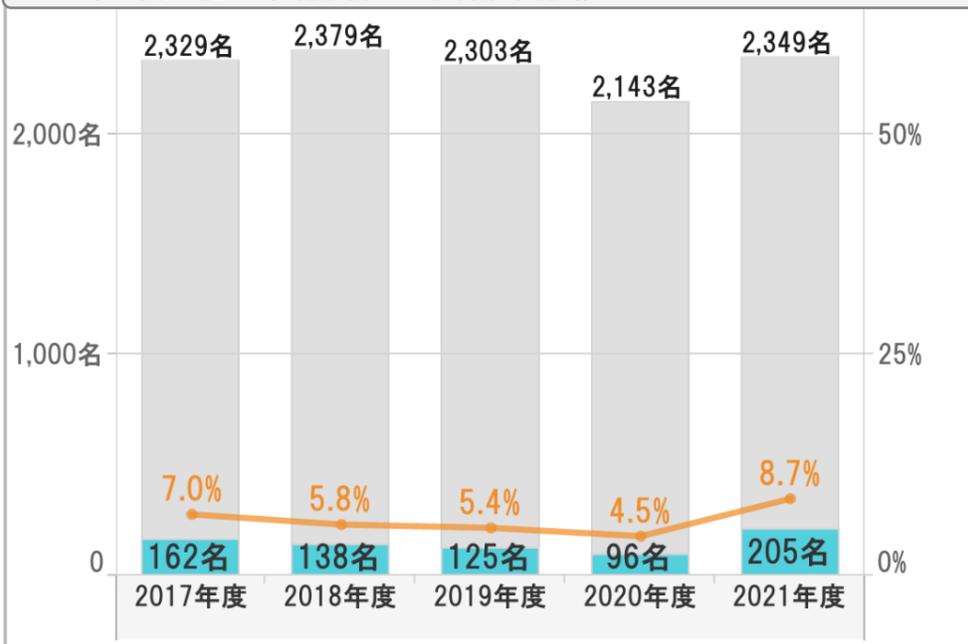
※ 回答スコアについて  
アンケートの各回答に割り当てた数値のこと。例えば否定から肯定まで1～4の数値を割り当てている(肯定的な値ほど高い数値)。回答スコアの平均は、回答スコアの合計を回答者の数で割った値。回答スコアが高いほど評価が良いとされる。

■ 回答者数、回答率

◆ 回答数／調査数（2021年度卒業生）



◆ 経年変化：回答者数、回答率推移

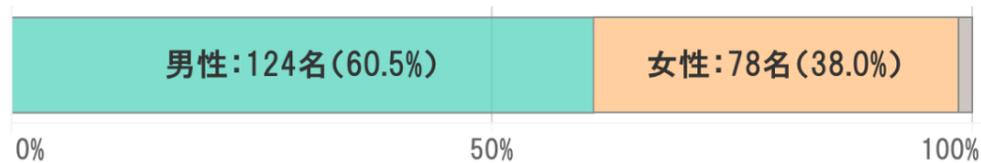


今年度は過去5年で一番高い回答率になった(8.6%)。

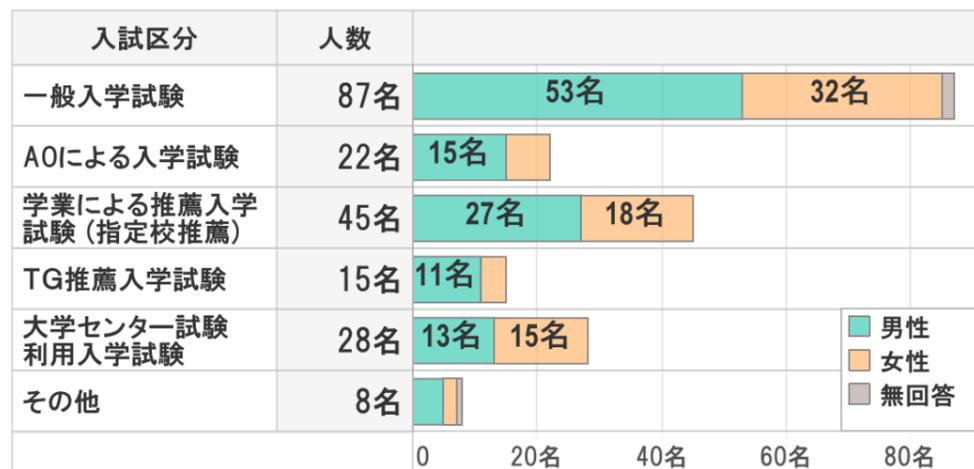
昨年度以前と比較して回答率が大幅に高くなった要因として、卒業生へのアンケート依頼の送付を郵送に加えて卒業時に収集したメールアドレス宛のメール通知を行ったこと、メールでのリマインド通知を送ったこと、卒業生が実家に帰省する年末年始を含んだ期間に依頼できた事が考えられる。

I. 基本情報に関する設問

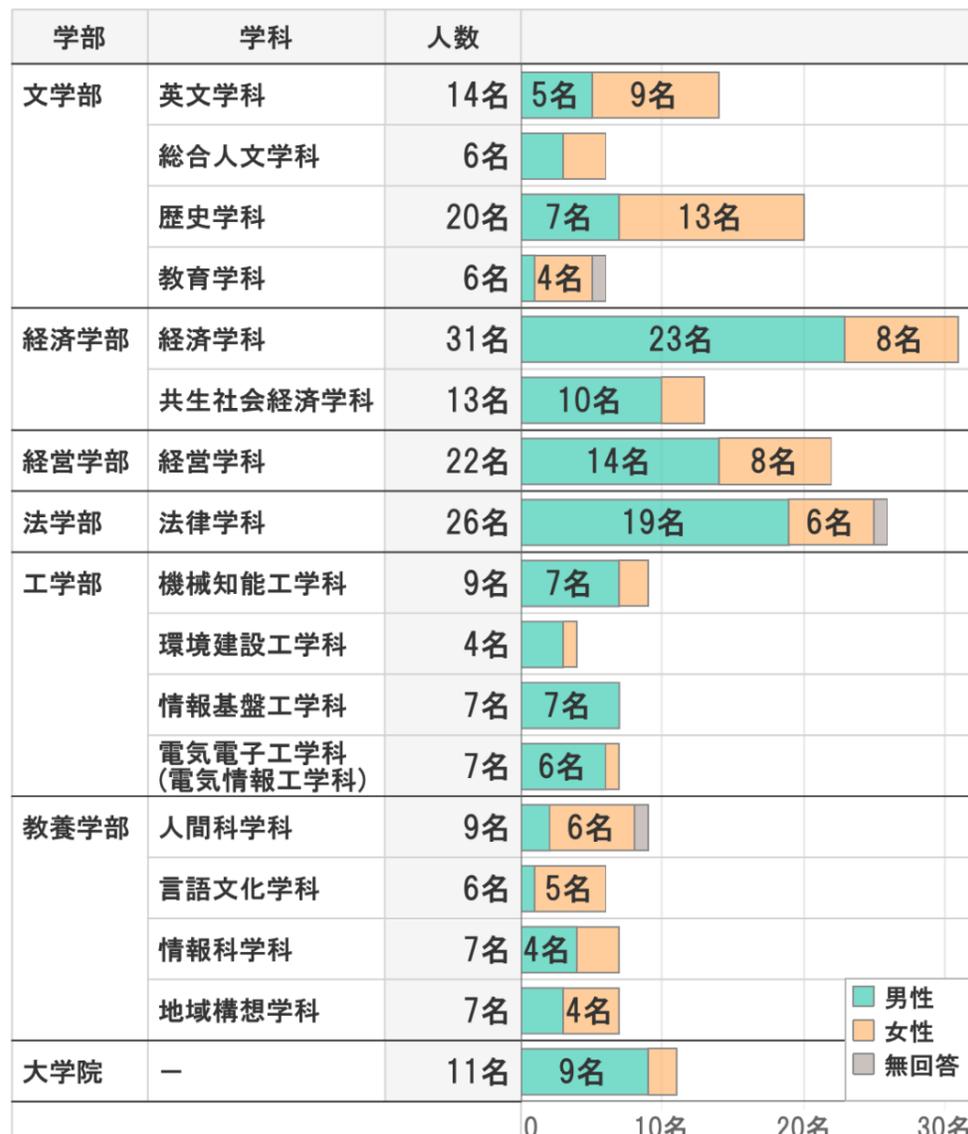
Q1. 性別



Q2. 入試区分



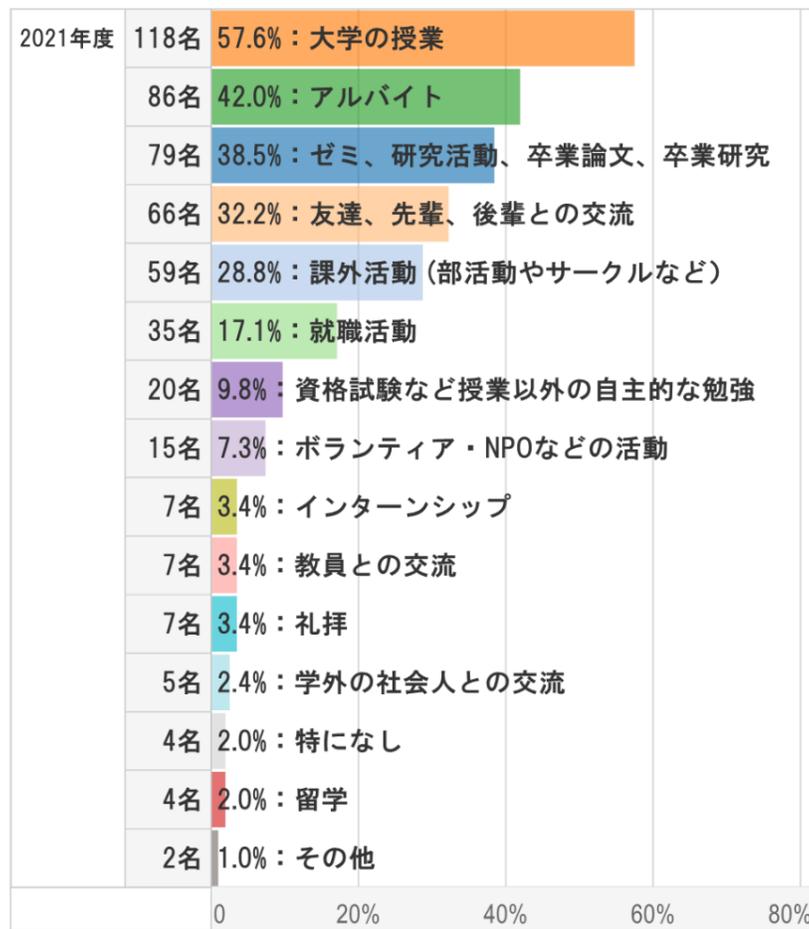
Q3. 卒業した学部・学科



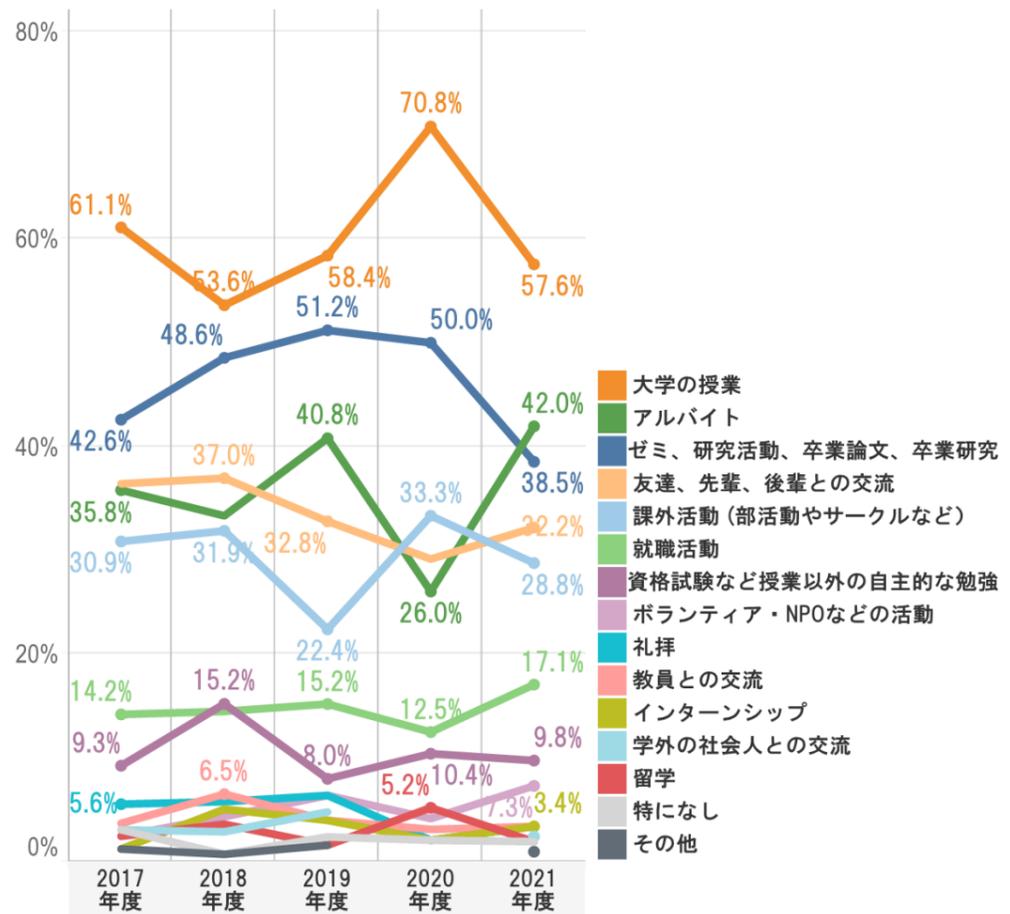
II. 東北学院大学での学生生活を振り返って

Q4. 大学で力を入れていたこと(最大3つ)

◆ 今期



◆ 経年変化



「大学の授業」の割合が一番高い。以下「アルバイト」「ゼミ、研究活動、卒業論文、卒業研究」が続いた。

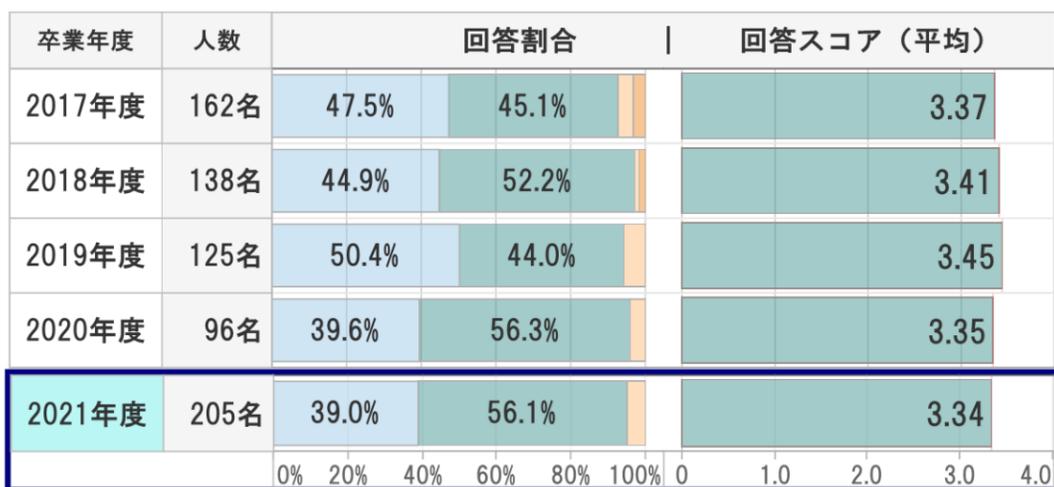
「大学の授業」は約58%。  
3年次、4年次はコロナ禍だったが、周囲との交流による成長が目立った。

「大学の授業」と回答した卒業生の割合は、過去5年とも一番高い。

ただし「大学の授業」「ゼミ、研究活動、卒業論文、卒業研究」は回答割合が低下しており、新型コロナウイルスの影響が考えられる。

Q5. 学生生活を通じて自分が成長したと感じますか

◆ 経年変化



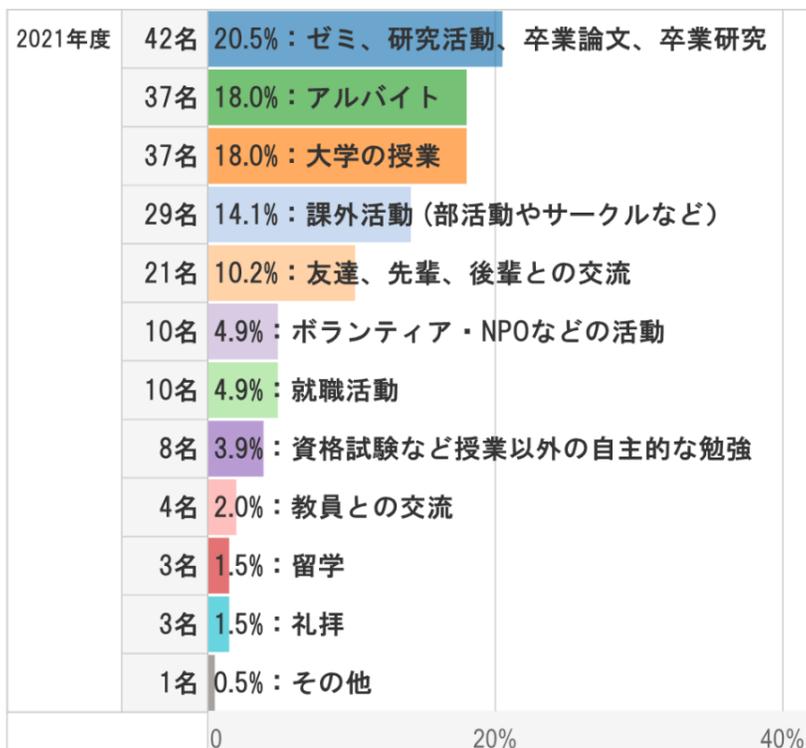
- 4\_とても成長した
- 3\_やや成長した
- 2\_あまり成長しなかった
- 1\_まったく成長しなかった

昨年度と比較して、回答スコア(平均)に大きな差は見られなかった。

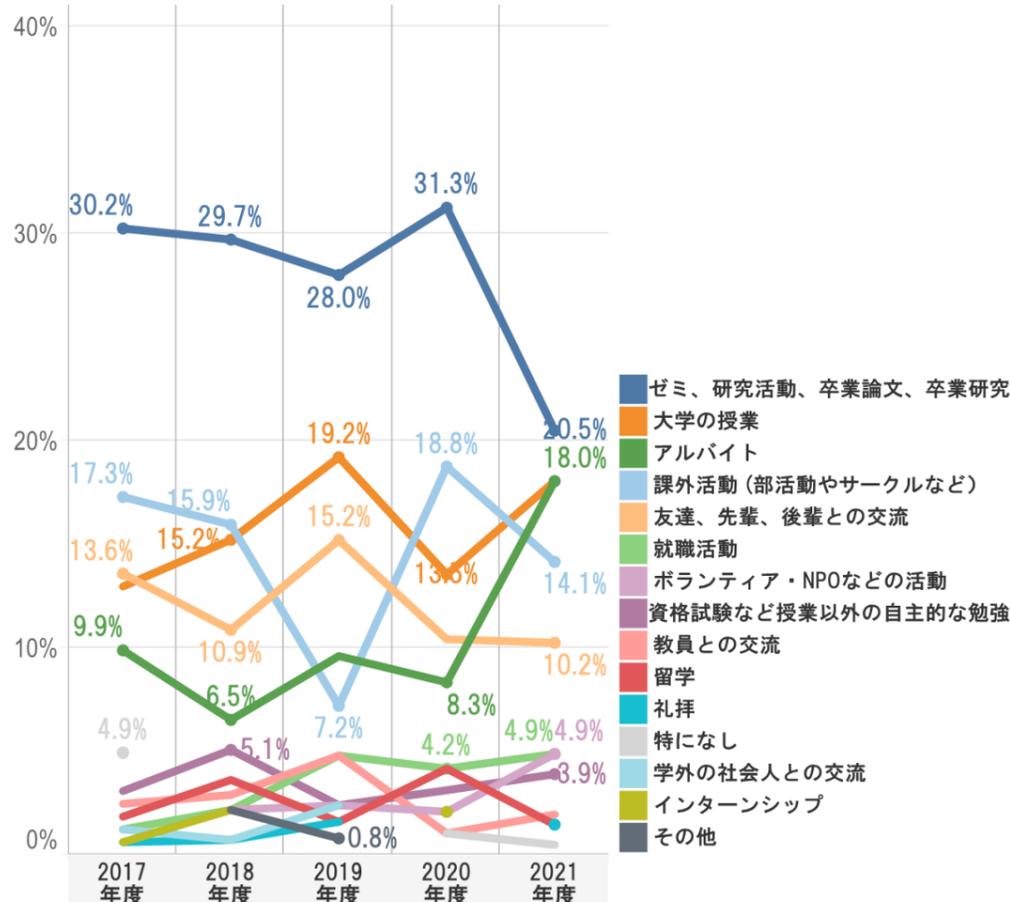
II. 東北学院大学での学生生活を振り返って

Q6. 大学で最も自分を成長させた経験

◆ 今期



◆ 経年変化



「ゼミ、研究活動、卒業論文、卒業研究」が1位であった。

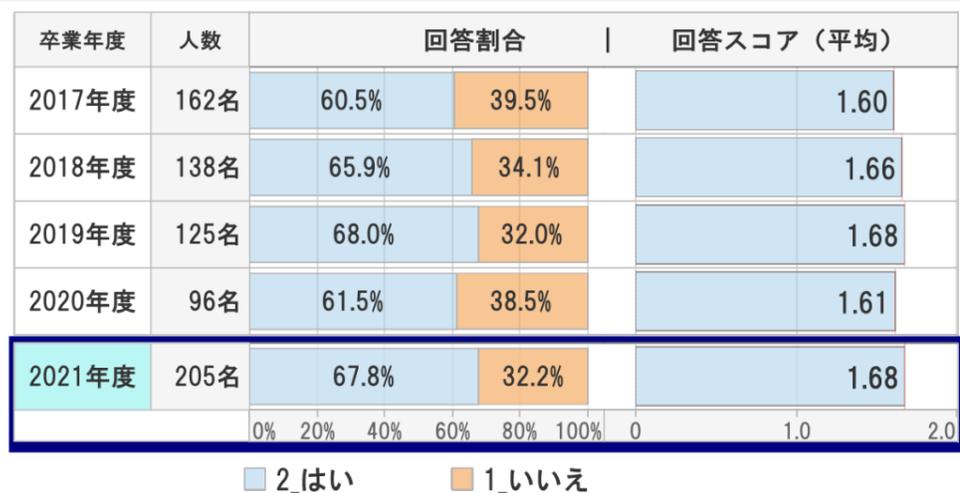
2位「部外活動(部活動やサークルなど)」の約1.5倍

「ゼミ、研究活動、卒業論文、卒業研究」が1位。ただし割合は10ポイント以上減少した。

3年次から新型コロナが流行したことが影響していると思われる。

Q7. あなたは東北学院の「建学の精神」をご存じでしたか

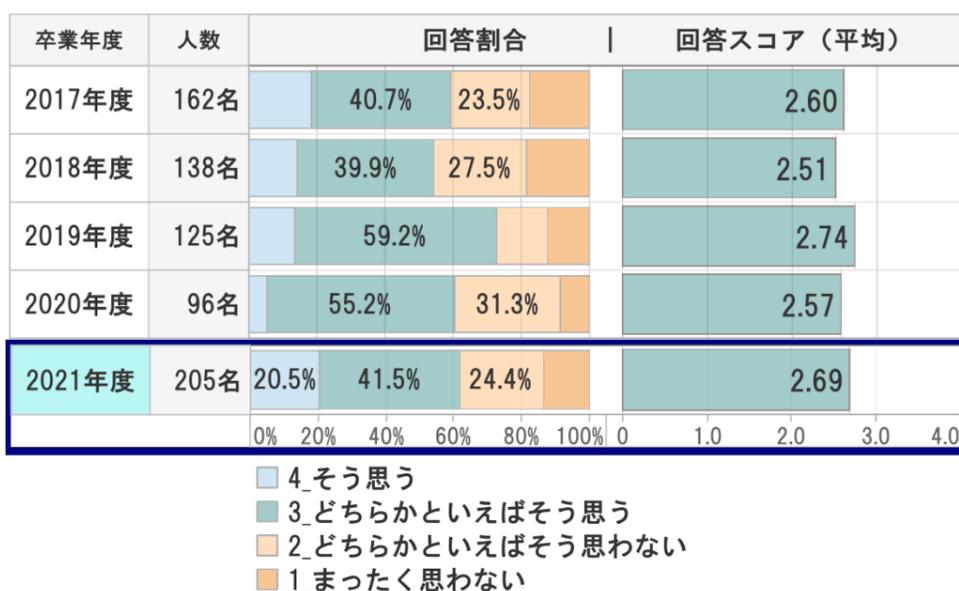
◆ 経年変化



建学の精神の認知度は、一昨年並みの数値に改善した。

Q8. 東北学院大学のキリスト教学や礼拝による人格教育が現在の生活に繋がっていると感じていますか

◆ 経年変化



回答スコア(平均)は、昨年度(2020年度)は減少したが、今年度はやや改善した。

今年度は「そう思う」と回答した卒業生の割合が、昨年度より10%以上上昇した。

III. 東北学院大学での学びについて

Q9. 東北学院大学において身に付けられた知識・能力

◆ 今期

卒業年度	人数	知識・能力	回答割合				回答スコア（平均）				
2021年度	205名	専門分野に関する知識や技能	37.1%	54.1%							3.27
		他者と協力して物事を遂行する能力	36.1%	52.2%							3.23
		他者を理解し意思疎通する能力	33.7%	53.2%	12.2%						3.20
		自主的かつ自律的に学修する能力	33.2%	50.7%	13.2%						3.14
		専門分野以外の幅広い教養	23.4%	63.4%							3.09
		批判的に考える能力	28.8%	51.2%	17.6%						3.06
		問題を発見し解決する能力	23.4%	61.5%	12.7%						3.06
		文章表現の能力	28.3%	48.3%	18.5%						3.00
		現代社会が直面する問題に関する知識	24.9%	50.2%	19.0%						2.94
		地域社会が直面する課題に関する知識	23.9%	50.7%	19.0%						2.92
		プレゼンテーションの能力	25.4%	44.9%	24.4%						2.90
		リーダーシップの能力	21.0%	36.6%	33.7%						2.70
		数理的に物事を分析する能力	16.1%	44.9%	31.2%						2.69
		異文化の人々と協力する能力	19.5%	42.0%	23.9%	14.6%					2.66
		英語の運用能力		37.6%	29.3%	22.9%					2.35

- 4\_身に付いた
- 3\_ある程度身に付いた
- 2\_あまり身に付いていない
- 1\_身に付いていない

平均回答スコアが高い項目(上位3つ)

- ・ 専門分野に関する知識や技能
- ・ 他者を理解し意思疎通する能力
- ・ 他者と協力して物事を遂行する能力

「英語の運用能力」のスコアは低かった。(スコア:2.35)

Q10. 専門的な知識や技能を身につけるための体系的なカリキュラムであったと思いますか

◆ 経年変化

卒業年度	人数	回答割合				回答スコア（平均）			
2017年度	162名	35.8%	53.1%						3.21
2018年度	138名	29.0%	60.9%						3.16
2019年度	125名	40.0%	48.8%						3.27
2020年度	96名	41.7%	54.2%						3.36
2021年度	205名	34.1%	54.6%						3.21

- 4\_そう思う
- 3\_どちらかといえばそう思う
- 2\_どちらかといえばそう思わない
- 1\_まったく思わない

昨年度までと比較して、  
回答スコア(平均)は低下した。

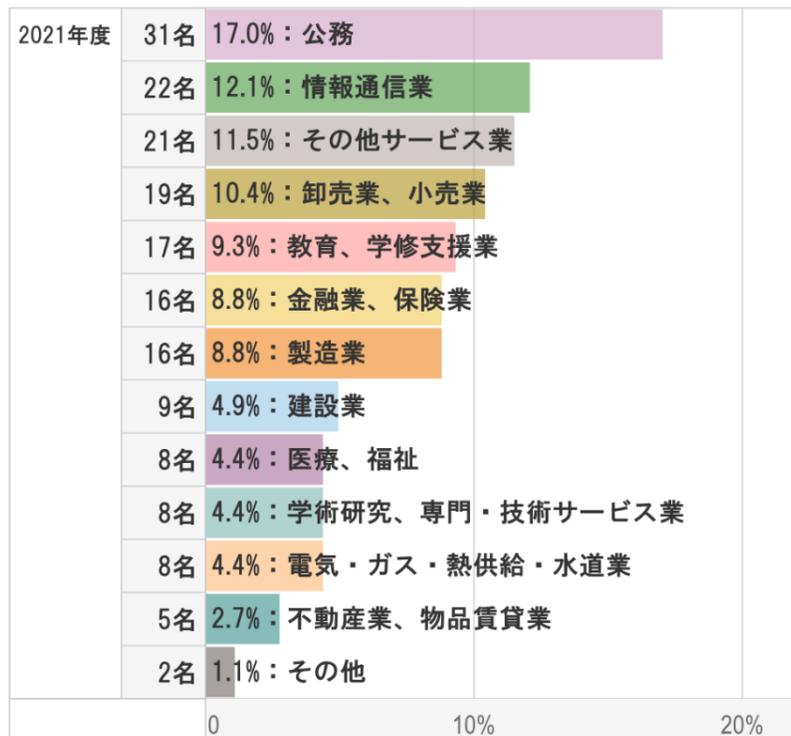
新型コロナの流行が影響した可能性が考えられる。

IV. 進路・就職について

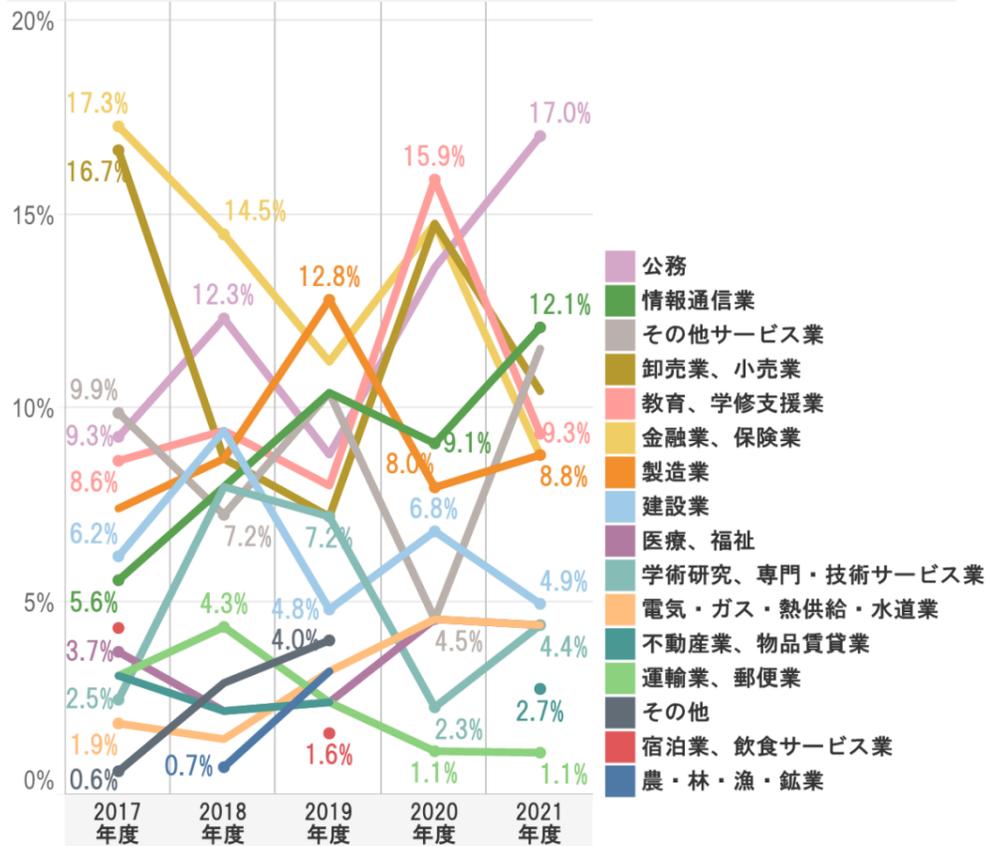
現在の勤務先について ※Q12.で、新卒もしくは転職先で「働いている」と回答した場合

Q17. 現在のお勤め先の業種をお選びください

◆ 今期



◆ 経年変化



「公務」が17%で1位。  
「情報通信業」、「その他サービス業」が続いた

回答した卒業生の業種別では、  
過去5年で一番「公務」の割合が高かった。

「情報通信業」の割合も3ポイント程度上昇した。  
その一方で「金融業、保険業」の割合は下降傾向になっている。

IV. 進路・就職について

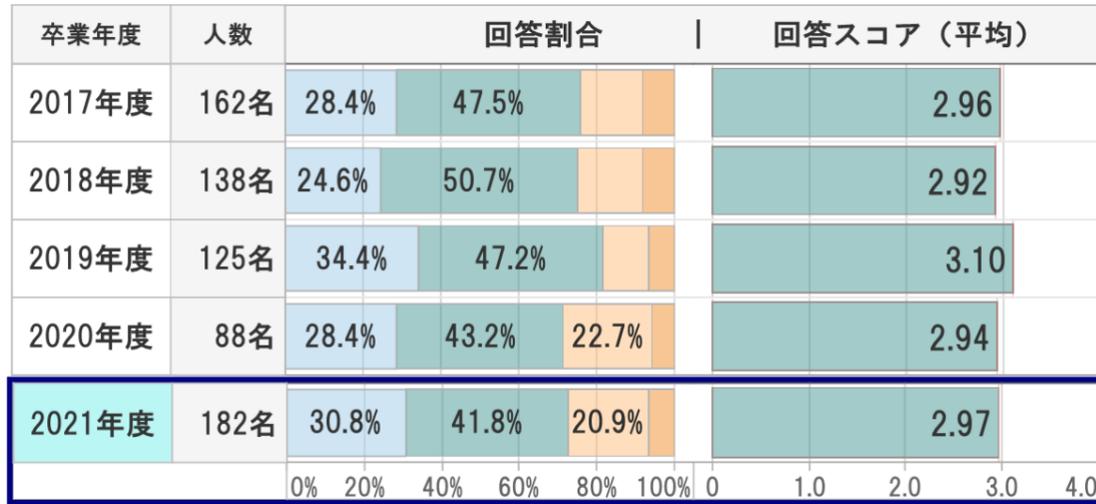
現在の勤務先について

※Q12.で、新卒もしくは転職先で「働いている」と回答した場合

Q19. 現在の職業に東北学院大学での学びが活かされていると思いますか

◆ 経年変化

※ 2019年度卒まで・・・対象：全卒業生  
2020年度卒より・・・対象：現在就業中の卒業生のみ

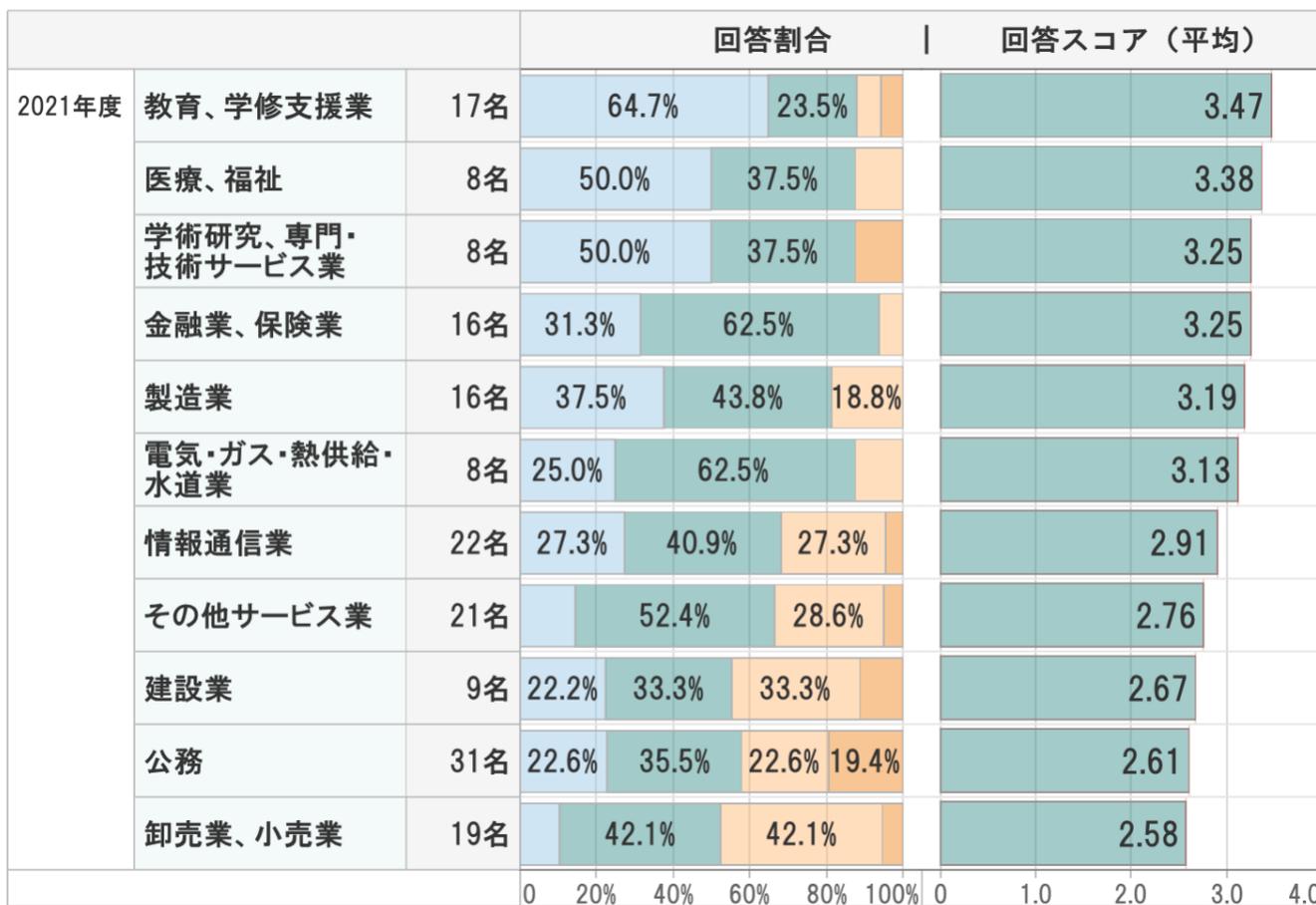


昨年度と比較して大きな差は見られなかった。

- 4\_そう思う
- 3\_どちらかといえばそう思う
- 2\_どちらかといえばそう思わない
- 1\_まったく思わない

◆ 分類：業種別（※）

※ 回答者が8名以上の業種のみ抽出



- 4\_そう思う
- 3\_どちらかといえばそう思う
- 2\_どちらかといえばそう思わない
- 1\_まったく思わない

業種によって、大学での学びが活かされていると実感する度合いにある程度の差が見られた。

1位「教育、学修支援業」は回答者の約2/3が「そう思う」と回答した。

肯定的な回答の割合が多い業種は下記の通り。

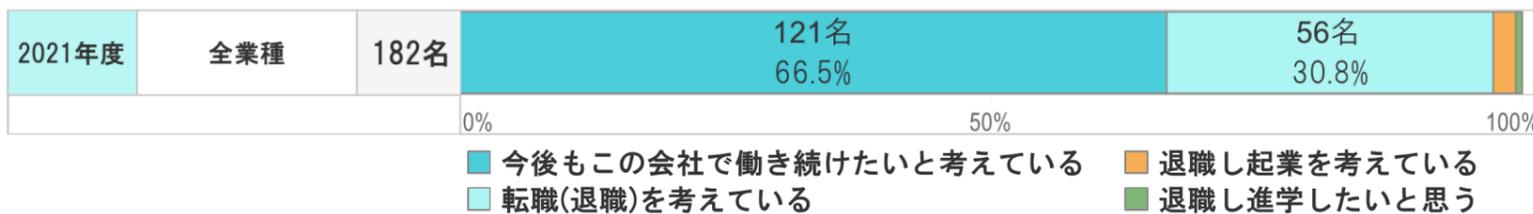
- 1位と2位「金融業、保険業」・・・回答者の9割以上
- 3位「製造業」・・・回答者の8割以上。
- 4位「情報通信業」と5位「その他サービス業」・・・回答者の7割以上

IV. 進路・就職について

現在の勤務先について

※Q12.で、新卒もしくは転職先で「働いている」と回答した場合

Q30. 現在の考えに近いものを選んでください



(2020年度卒業生調査より回答を見直し)  
 現在就業中と回答した卒業生のうち、2/3程度は今後も今の会社で働き続けたいと考えている。

新卒と転職経験者で大きな差は見られなかった。

Q32. 社会で活躍するために必要だと考えている能力・知識

◆ 今期

卒業年度	人数	知識・能力	回答割合				回答スコア（平均）			
			4_とても必要	3_どちらかといえば必要	2_どちらかといえば必要ではない	1_必要ではない	スコア	スコア	スコア	スコア
2021年度	205名	コミュニケーション力	83.4%	14.6%			3.81			
		協働力	69.3%	27.8%			3.66			
		課題発見・解決力	68.8%	28.3%			3.65			
		論理的思考力	66.3%	30.7%			3.63			
		実践力	60.5%	36.1%			3.57			
		人脈形成力	56.6%	37.6%			3.50			
		文章力	51.7%	40.5%			3.44			
		発想力	51.2%	42.0%			3.42			
		幅広い知識・教養	49.3%	43.9%			3.41			
		数的思考力	48.8%	44.9%			3.40			
		統率力	51.2%	37.1%			3.37			
		プレゼンテーション力	47.8%	41.0%	9.8%		3.35			
		専門的な知識や技能	43.9%	47.3%			3.34			
		地域力	32.2%	42.0%	20.0%		3.00			
		外国語によるコミュニケーション力	22.0%	43.9%	27.8%		2.81			

0% 20% 40% 60% 80% 100% | 0 1.0 2.0 3.0 4.0

- 4\_とても必要
- 3\_どちらかといえば必要
- 2\_どちらかといえば必要ではない
- 1\_必要ではない

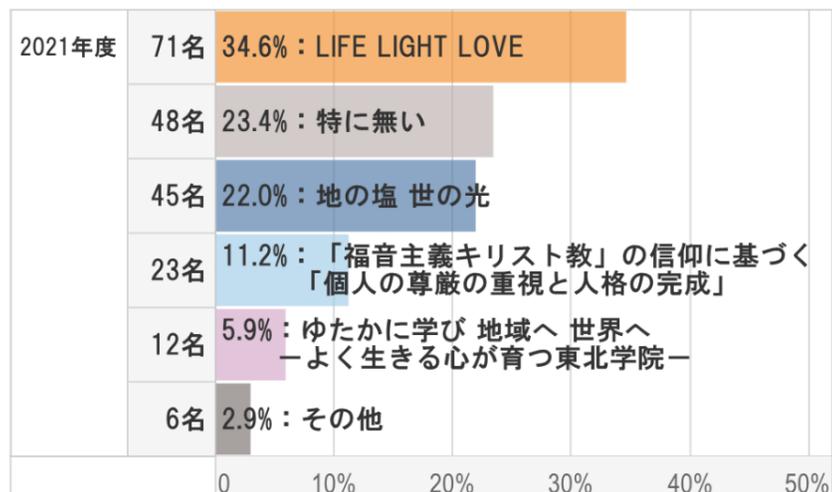
(2020年度卒業生調査より、項目ごとに必要度合いを選択する形式に変更)  
 「コミュニケーション能力」は重要視されており、83%が「とても必要」と回答した。

以下「協働力」「課題発見・解決力」「論理的思考力」が続く。  
 その一方で「地域力」「外国語によるコミュニケーション能力」は2割以上が否定的な回答だった。

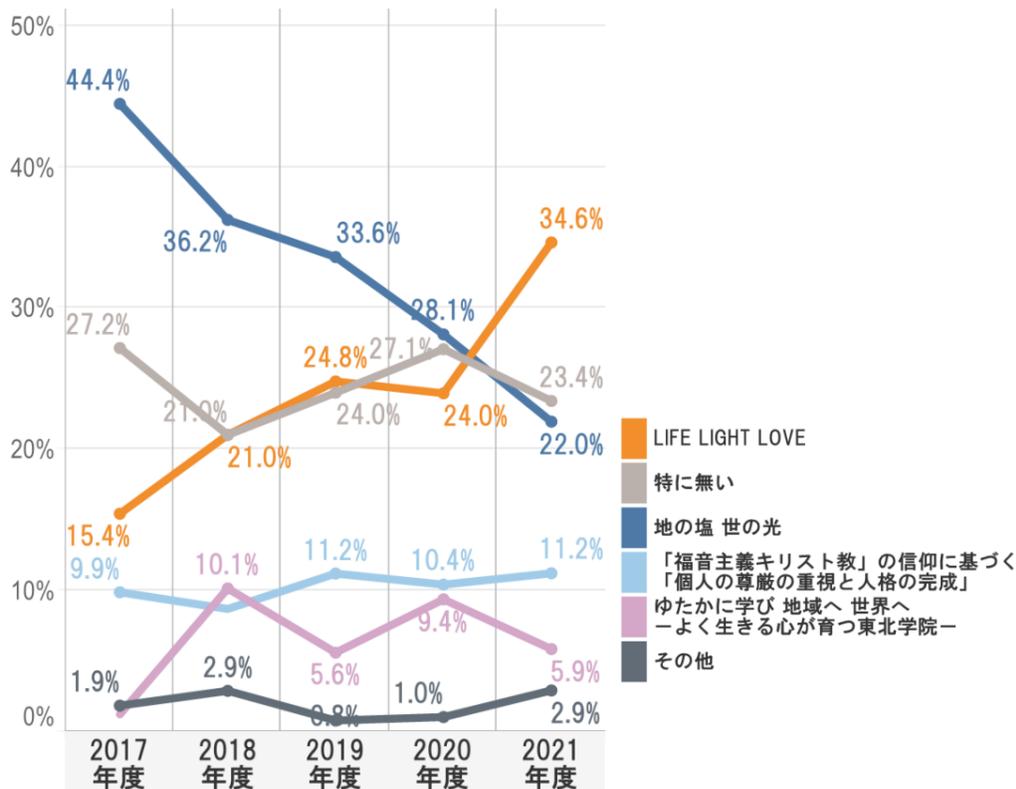
V. 東北学院大学に対する評価

Q35. 東北学院大学を表す最初にイメージする言葉

◆ 今期



◆ 経年変化

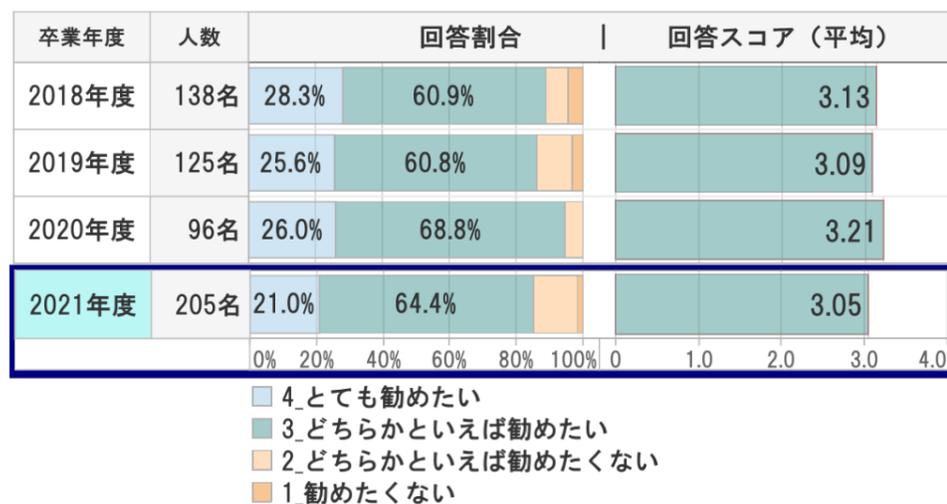


「LIFE LIGHT LOVE」の回答が、昨年度より大幅に上昇した。

初めて「LIFE LIGHT LOVE」が最も多く選ばれた。

Q36. あなたは高校生に東北学院大学への進学を勧めたいと思いますか

◆ 経年変化

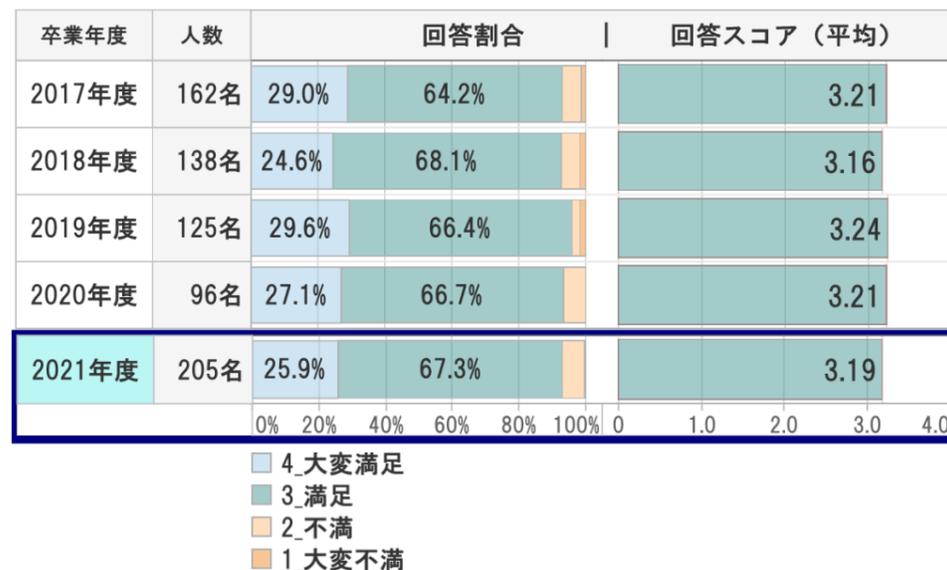


回答スコア(平均)は、前年度より減少した。

「とても勧めたい」と回答した卒業生は、前年度以前より約5ポイント下降した。

Q37. 東北学院大学での学びに対する満足度

◆ 経年変化

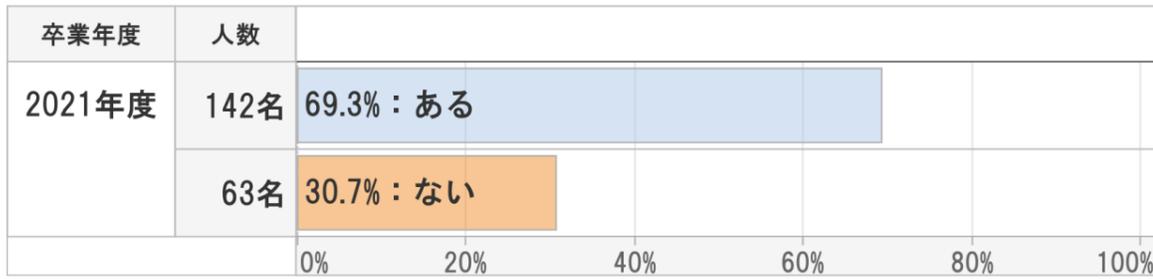


東北学院大学の学びに対する満足度については、ここ数年で大きな変化は見られなかった。

2021年度卒業生は3年次、4年次が新型コロナの流行時期だったが、大きな変化は見られなかった。

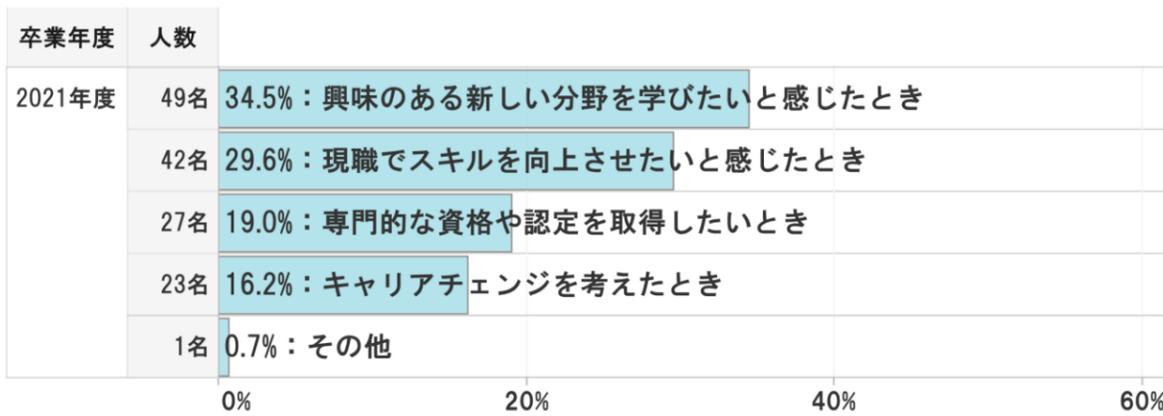
VI. 卒業後の学び直しについて

Q39. 卒業後に、大学で新たな知識や技能を習得したいと思ったことはありますか



回答者の約7割が、大学で新たな知識や技能を習得したいと考えている。

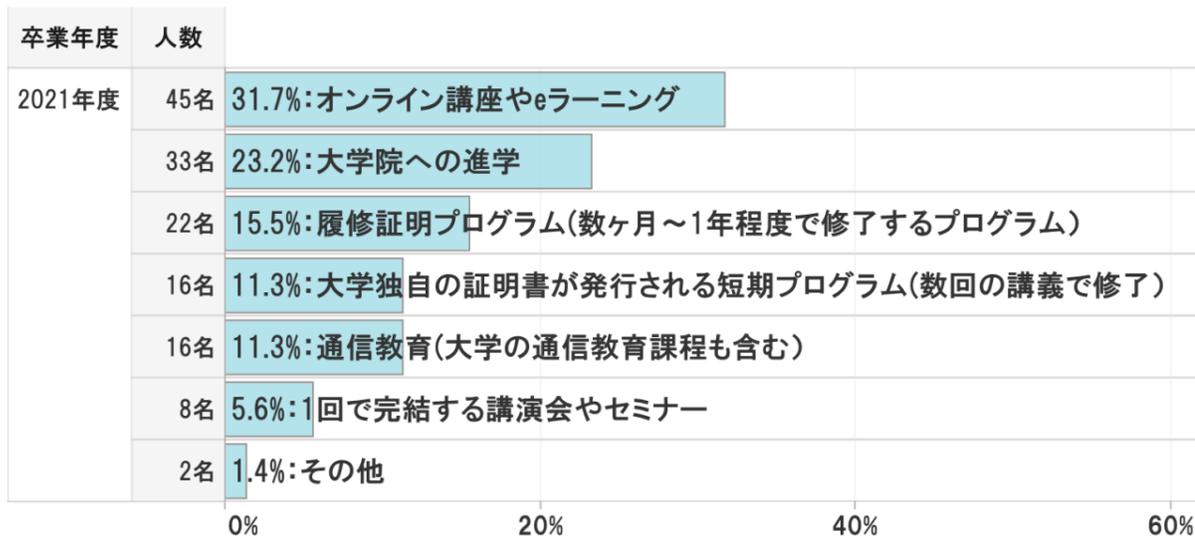
Q40. どのような時に、新たな知識や技能を習得したいと感じましたか



回答者の約35%が、「興味のある新しい分野を学びたいと感じた時」と回答した。

2位は現職でのスキル向上(約30%)。

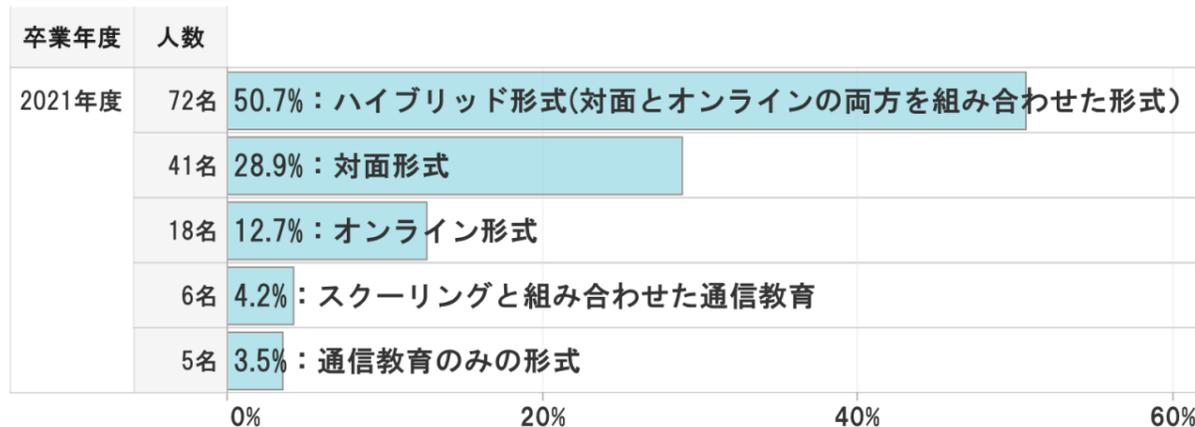
Q41. 新たな知識や技能を習得するために、どのような学びのスタイルが最も適していると感じますか



回答者の約32%が、新たな学びのスタイルとして「オンライン講座やeラーニング」と回答した。

2位は「大学院への進学」(23.2%)。

Q42. 新たな知識や技能を習得するために、どのような学びの形式が最も適していると感じますか



対面式、オンライン式、もしくはその両方との回答が9割を占めた。

対面式が3割弱、オンライン形式が1.3割弱、対面とオンラインの両方を組み合わせたハイブリッド形式が5割という結果になった。